

## ■ 病院概要

- 開設者名 新潟県 ■ 病院長名 佐藤 信昭
- 標榜診療科目  
 内科、神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、頭頸部外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科
- 使用許可病床数
 

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	450床	357.2人
- 一日平均外来患者数 956.4人 ■ 医師数 常勤 94人 非常勤 3.5人
- 年間手術件数 4,972件 ■ 病院併設施設 無
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況



JCOG(胃がんグループ)参加施設、JCOG(食道がんグループ)参加施設、JCOG(肺がん外科グループ)参加施設、JCOG(乳がんグループ)参加施設、JCOG(皮膚腫瘍グループ)参加施設、JCOG(肺がん内科グループ)参加施設、呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度基幹施設、日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)非血縁者間骨髄採取認定施設・非血縁者間骨髄移植認定施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、日本医療機能評価機構認定、日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設認定、日本インターベンショナルラジオロジー学会(日本IVR学会)専門医修練施設、日本核医学会専門医教育病院、日本眼科学会研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本消化器科学会専門医修練施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本乳癌学会認定施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修事業暫定認定研修施設、日本病理学会研修認定施設B、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本麻酔科学会認定病院、日本輸血・細胞治療学会指定研修施設、日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設、日本輸血・細胞治療学会I & A認定施設、日本臨床衛生検査技師会精度保証施設、日本臨床細胞学会施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本食道学会食道外科専門医認定施設、日本小児血液学会、日本小児がん学会小児血液・小児がん専門医研修施設、日本乳房オンコプラステックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、日本乳房オンコプラステックサージャリー学会インプラント実施施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連施設、日本超音波医学会研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本大腸肛門病学会認定施設、NCD施設会員

## ■ 医学生の皆様へ

### 初期研修から後期研修へ

当院は“一人ひとりを大切にする医療を目指してがんを中心とした高度先進医療を広く県民に提供する”をモットーに、がんの予防・診断・治療、医療者の教育研修、臨床研究を使命とした総合病院併設型地方がんセンターである。  
 新潟県の“がん診療連携拠点病院”の認定を受けており、過去50年間にわたって新潟県および甲信越におけるがん診療の中心的役割を担ってきている。

### I. 初期研修としての当院の特徴

当院は臨床研修指定病院として30年以上の経験と実績を有し、かつ当初からスーパーローテーション方式による卒業研修を実施してきた。がんの診療と研究に重点をおいた病院であるが、総合的診療機能を併せ持った病院であるため、一般臨床医としての基本的な知識・技術の修得のみならず、がんを含む各専門分野の入口までの研修が可能である。

平成16年度からの新臨床研修制度では、当院は管理型病院として協力型病院および研修協力施設との連携により病院群による卒業臨床研修を実施してきた。平成22年度からはプログラム見直しによる研修科目の変更があったが、Aコースでは、選択必修科目を従来通りの全て必修として、新研修制度の理念である、重要各分野の基礎診断・治療能力の取得を継続するのが特徴である。また、新臨床研修プログラムで規定される救急医療研修の充実を図った。

平成22年度からのプログラム見直しにより、必修科目として、内科、救急医療、地域医療が指定され、その他の科目(外科、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科)については2科目以上を選択研修すれば良いこととなった。すなわち、将来の専門研修を見据え、より選択の幅を広げた研修が可能となった。このような見直しを踏まえ、従来のプログラムと同様の研修コースであるAコースに加えて、Bコースでは、選択必修科目を2科目以上の研修とし、選択研修の期間を長くして、より専門研修指向型の研修を可能とするのが特徴である。また、Aコースと同様に、新臨床研修プログラムで規定される救急医療研修の充実を図った。

### II. 専門研修としての当院の特徴

専門研修の協力病院としてのみならず、下記のような当院独自の後期(専門)研修プログラムを実施し、大学病院との連携のもとに専門医の育成に貢献している。

#### ① 内科レジデント研修プログラム：3年間

臨床腫瘍内科専門医を育成することを目的としたプログラムである(がん薬物療法専門医：3名)。臓器(呼吸器系、消化器系、血液・化学療法系)に拘らない幅広い臨床腫瘍内科学研修が可能である。当院(18ヶ月)、大学病院内科(12ヶ月)、一般県立病院(6ヶ月)の研修により、内科専門医としての研修にも対応する。  
 希望により、全国各地の専門病院での研修も可能。

#### ② 放射線科研修プログラム：3年間

当院(24ヶ月、放射線診断、放射線治療)と大学病院(12ヶ月、引き続き当院での研修も可能)での研修により、放射線診断・治療両分野の専門研修が可能である。

#### ③ 麻酔科研修プログラム：3年間

当院(24ヶ月)と大学病院(12ヶ月)での研修により、麻酔全般の専門研修が可能である。

#### ④ 病理研修プログラム：3年間

当院(24ヶ月)と大学病院(12ヶ月)の研修により、臨床病理、基礎病理の専門研修が可能である。

#### ⑤ 消化器外科研修プログラム：3年間

当院(各分野全て研修、24ヶ月)と大学病院(6ヶ月)、6ヶ月の自由研修により、消化器外科全般の専門研修が可能である。



## Access



照会先  
 庶務課 臨床研修医採用担当  
 TEL 025-266-5111 FAX 025-266-5112  
 メールアドレス [shomu3@niigata-cc.jp](mailto:shomu3@niigata-cc.jp)

病院見学の受入 随時  
 申込方法  
 氏名、大学名、学年、見学希望日、見学希望の診療科を明記して、メールにてお申し込みください。

- 【電車】 JR越後線「白山駅」下車 徒歩1分 【高速バス】 新潟行「がんセンター前」下車
- 【市内バス】 新潟駅前、万代シティ、古町、市役所、青山方面より BRT萬代橋ライン「白山駅前」下車 徒歩3分  
 新潟駅南口、上所、近江、出来島方面より C1県庁線「がんセンター前」下車  
 新潟大学病院より S1市民病院線「がんセンター前」下車

## 研修概要

### 研修プログラムの目的と特徴(平成29年度研修医)

#### ■ 目的

1. 将来の専門性に関わらず、社会人としての一般常識を備えた医師となること。
2. 患者、医療スタッフと良好なコミュニケーションが取れる医師となること(チーム医療の実践)。
3. High level evidenceに基づく医療(質の高い医療)を実施する医師となること。
4. 医療の現状に満足することなく、常に進歩し研究する医師となること。

#### ■ 特徴

新潟県立がんセンター新潟病院の臨床研修が変わります！

◎がん専門病院としての特徴を活かし、がんを一つの切り口として多職種、多診療科の連携による全人的な医療を学びます。

◎救急診療、プライマリーケアを含む研修を充実させるため、魚沼基幹病院、十日町病院、松代病院と連携します。

1年目											2年目												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

A コース：放射線科研修を必修化し、内科研修期間を合計で8か月間確保しました。

内科 4か月	放射線科 2か月	麻酔科 1か月	救急 3か月	内科 2か月	選択 3か月	地域医療 2か月	外科 3か月	内科 2か月	選択 2か月
-----------	-------------	------------	-----------	-----------	-----------	-------------	-----------	-----------	-----------

B コース：自由選択期間を合計で9ヶ月間確保しました。

内科 4か月	麻酔科 1か月	救急 3か月	内科 2か月	選択 4か月	地域医療 2か月	選択 2か月	外科 3か月	選択 3か月
-----------	------------	-----------	-----------	-----------	-------------	-----------	-----------	-----------

当院は新潟県のがん診療連携拠点病院として、他医療機関と連携し、地域のがん医療に中心的な役割を果たすとともに、臨床研修病院としても長い歴史を有し、これまでに多くの医師が研修してきました。

がんは、いまや、どの診療科においても普通に遭遇する疾患であり、多職種、多診療科が協同し、予防、診断、治療、緩和ケアにいたるまで、全人的な対応が必要になります。

本プログラムでは、がん専門病院としての特徴を活かし、内科研修を中心に、選択必修科目から麻酔科と外科研修を必修化するとともに、魚沼基幹病院、十日町病院、松代病院と連携して救急診療、プライマリーケア部門の研修の充実をはかります。放射線科を必修化し、内科研修を8ヶ月間設定したAコースと、より自由度の高いBコースを用意しました。

#### ■ 協力病院・協力施設

新潟大学医歯学総合病院、魚沼基幹病院、新潟県立中央病院、新潟県立津川病院、新潟県立十日町病院、新潟県立松代病院、済生会新潟第二病院、河渡病院 など

#### ■ 研修医の待遇(平成29年度研修医)

1年次月額	基本給	310,000円
	当直手当	10,000円/回
	月額平均計	350,000円
2年次月額	基本給	340,000円
	当直手当	20,000円/回
	月額平均計	420,000円

#### ■ 勤務体制

勤務時間： 8：30～17：15  
 日直： 〃  
 当直： 17：15～ 8：30

#### ■ 研修医当直

回数(月平均) 4回/月  
 当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数) 1人  
 (当直研修医数) 1人  
 研修医単独の当直はなく、必ず指導医と一緒に当直する。

#### ■ 研修医の学習環境

居室 専用の研修室有、専用の机有、ソファ等有  
 図書・文献 図書室：平日の8：30～17：15利用可能  
 医学図書7,000冊以上 Web利用可能  
 インターネット環境 各自分の机からインターネット接続可能  
**■ 研修の宿舎の有無など**  
 宿舎 無 規定により算定した住宅手当を支給(上限27,000円)します。  
 食事 朝食は売店、昼食は職員食堂・弁当宅配・売店・夕食は外食・近隣にコンビニエンスストア有

